

第 9 事業年度
事業計画書

自 令和 3年4月 1日
至 令和 4年3月31日

一般社団法人 十勝釧路管内さけ・ます増殖事業協会

〒080-0801

帯広市東1条南2丁目1番地

TEL 0155 (25) 0722 FAX 0155 (25) 0725

<http://www.sakemasu.net//>

E-mail : sakemasu-obihiro@nifty.com

目 次

令和3年度 基本方針	1
事業計画	
1. 捕獲採卵事業及びふ化放流事業	2
(1) 親魚捕獲採卵事業	
(2) ふ化放流事業	
2. 増殖施設、捕獲施設整備事業	2
3. さけ・ます放流体制転換調査	2～3
(1) 増殖戦略実証調査	
(2) 回帰親魚調査	
4. さけ・ます等栽培対象資源対策事業	3
5. 北海道委託事業	3
(1) 秋サケ資源回復加速化業務委託	
(2) さけ資源の増殖と効率的管理に関する調査業務委託	
(3) 秋さけ資源回帰向上対策事業（地域づくり総合交付金）	
6. ふ化放流助成事業	3
7. さけます資源保護対策・研修活動事業	4
(1) 試験調査事業	
(2) 教育研修事業	
(3) 密漁防止対策事業	
(4) 河川環境保全対策事業	
8. 受入並びに負担事業	4
(1) ふ化放流助成事業（基準事業費）	
(2) 秋さけ資源増大対策資金	
収支予算書	5～8
令和3年度会費の額及び徴収方法	9
表－1 令和3年度サケ人工ふ化放流計画	10

令和3年度 基本方針

令和2年度の北海道の秋サケ漁獲量は漁期前予測を下回り、2年連続5万トンを割り込むという歴史的不漁となり、漁獲金額においても320億円に終わっています。加えて新型コロナウイルスの終息が見通せない中、世界的な経済混乱による秋サケ定置漁業への影響が心配される所であり、

当管内の秋サケの沿岸来遊状況は主群となる4年魚の来遊不振で、73万尾、2,500トンと、平成で最も低い水準となった29年から4年続けたの不漁となった所であり、漁獲金額においても16億円と、計画の20億円には及ばず漁業経営のみならず、当協会の事業運営も大変厳しい状況にあります。漁獲量が極端に不漁だったことから、河川における親魚捕獲においても不振を極め、最終的には計画の48%にとどまる11万4千尾あまりと、昭和50年代以降最低を記録しました。

種卵確保につきましても、大幅に不足することが見込まれたため、エリモ以東海区さけ定置漁業調整協議会の協力を得まして、定置操業の自主規制を行い、親魚確保に努めたほか、宗谷・北見・日高管内から種卵を供給して頂きました。あらためて、関係機関、各地区の漁業者の皆様のご尽力に深く感謝申し上げます。

近年の大幅な来遊数の落ち込みなどにより、各地区組織の財務状況は一段と悪化し、これまで基本としてきた基準事業費制度の抜本的な見直しが必要となるなど、大幅な増殖体制の転換が求められ、この厳しい状況の中、令和4年度からの安定的な増殖体制を構築するため第5期増殖体制検討協議会を設置し、民間増殖事業のあり方について検討が進められています。国は水産業の成長産業化を推進するため「ふ化放流事業のあり方」については、我が国のサケ資源は近年最低水準に落ち込んでいる状況から、当面、現状のふ化放流施設と放流体制を維持していくことが示された所であり、

一方、道においては、近年の海洋環境の変化等により、回帰率が大幅に低下しているため、この問題に対応するには、より健苗で強い稚魚を育て、各地区の河川と沿岸環境に合った適期放流を進めていく「秋サケ資源対策協議会」を設置し、対策に取り組んでいる所です。国や道等の行政、研究機関の指導・支援を頂きながら、来遊資源の減少要因の解明、環境変化に対応したふ化放流技術の開発の強化を早急に進め、これまでの増殖技術転換を図っていく必要があります。

事業計画についても引き続き最低水準の水揚げを想定して行く必要があります。本年度につきましても、同レベルでの資源水準を想定しながら水揚げ計画を16億円とし、捕獲採卵事業の大幅な見直しを図り、経費の削減と効率的な事業の推進に努めて参ります。また、全般的にふ化放流施設の老朽化が進んで来ておりますが、経営体質の強化や余剰財源の確保が急務となっております。秋サケ定置漁業の漁獲高割負担金につきましても、本年も引き続き2%の特別負担金をお願いするものであります。皆様方の漁業経営は非常に厳しいものがあると重々承知しておりますが、是非とも御理解を賜りたいと思っております。これまで以上に経費削減を念頭において慎重な財務運営をいたして参る所存でございます。本年度の施設整備計画についても事業運営が大変厳しいことから、緊急を要する維持補修のみにとどめ、財源をきちんと管理しながら効果的な施設整備に努めて参ります。

いずれにしましても、管内の定置漁業を巡っては難しい状況が続いておりますが、こうした現状をしっかりと認識し、最大限の努力をしていく所存でありますので、引き続き会員皆様の深いご理解、ご協力をお願いいたします。

事業計画

1. 捕獲採卵事業及びふ化放流事業

道が策定した令和3年度さけ・ます人工ふ化放流計画に基づき、捕獲採卵事業河川5河川と補完河川4河川において、期別の採卵計画に沿って良質卵の確保を目標に事業を実施して参ります。

(1) 親魚捕獲採卵事業

事業河川である十勝川、釧路川、広尾川、楽古川、幌戸川の捕獲場において、東部地区85,000尾、西部地区147,200尾、合わせて232,200尾の親魚確保を目指します。補完河川・非捕獲河川については地元漁協と連携し、種卵不足時に対応できる体制を整えて参ります。余剰親魚等の売却につきましては、北海道との業務委託契約に基づき売却処理し、売却代は本会の運営財源と一部を道増協への親魚等売却負担金として納入します。

(2) ふ化放流事業（表－1）

十勝釧路管内21カ所のふ化放流施設において、12名の技術職員により健苗育成と放流手法の改善を実施し、資源回復に向けて回帰率の向上に努めます。地場卵2億1,304万粒から東部地区6,535万尾、西部地区1億1,650万尾、全体で1億8,185万尾の放流を目指して参ります。この内、二次飼育、海中飼育については、各漁協及びさけ定置部会の協力のもと実施します。

[令和3年度 さけ捕獲採卵・ふ化放流計画概略]

海区	地区	期別	捕獲数 (尾)	採卵数 (千粒)	稚魚放流数 (千尾)	内海中飼育等 放流数(千尾)	
エリモ以東	東部	前期	34,600	31,750	26,130	2,760	
		中期	38,200	34,950	29,710	2,940	
		後期	12,200	11,200	9,510	0	
		計	85,000	77,900	65,350	5,700	
	西部	前期	57,300	52,650	45,280	0	
		中期	69,500	63,800	55,150	2,000	
		後期	20,400	18,690	16,070	0	
		計	147,200	135,140	116,500	2,000	
	合計			232,200	213,040	181,850	7,700

2. 増殖施設、捕獲施設整備事業

本年度について施設整備は緊急を要する補修修繕のみ行っていきます。

3. さけ・ます放流体制緊急転換事業

事業主体：(公社)北海道さけ・ます増殖事業協会

(1) 増殖戦略実証調査

近年の海洋環境の変化に耐えうる、より健苗な稚魚を放流し、稚魚の生残率を高めるため、更別ふ化場で生産するさけ稚魚6,000千尾に標識を付け、増殖・回帰効果を検証する事業を行っていきます。

(2) 回帰親魚調査

平成27年度から広尾ふ化場で実施してきた放流手法改良調査において放流した稚魚の回帰効率を把握するため、広尾川に回帰した親魚の耳石を採取し、放流稚魚の耳石標識との照合と分析を行い、標識魚の回帰効果を調査します。

4. さけ・ます等栽培対象資源対策事業（内『さけ・ますふ化放流抜本対策事業』）

事業主体：(国研)水産研究・教育機構

放流後の河川や沿岸での減耗回避技術開発を図るため、釧路川において耳石標識を施した稚魚の放流と追跡調査を水産研究所（旧北水研）、内水試、釧定協と連携して行います。

5. 北海道委託事業

(1) 秋サケ資源回復加速化業務委託

遊泳力の強化や飢餓耐性の向上が期待できるDHAを添加した飼料を放流前7日間の期間に秋サケ稚魚に給餌し遊泳力、飢餓耐性を調査、複数のふ化場で実施します。

事業主体：北海道

(2) さけ資源の増殖と効率的管理に関する調査業務委託

さけ稚魚の有効な放流適期を解明するため、沿岸水温の観測や放流直前の稚魚状態と回帰状況を把握し、適期放流の時期を検証する。

事業主体：北海道資源管理協議会

(3) 秋さけ資源回帰向上対策事業（地域づくり総合交付金）

海洋環境の変化による来遊減少や、現在のふ化放流の手法から、変化に対応した手法への転換が急務となっており、新たな取り組みを実施し秋さけ資源の造成に取り組む。（釧路地区）

事業主体：北海道釧路総合振興局

6. ふ化放流助成事業

各漁協、部会で実施している河川での稚魚二次飼育事業費に対して以下の通り助成を致します。

釧路地区

単位：千円

幌戸	太田	チョロベツ	庶路	茶路	音別	小計
7,300	2,600	4,500	1,000	10,000	2,000	27,400

十勝地区

更生	小紋別第1	小紋別第2	大樹	小計	合計
5,300	900	1,800	600	8,600	36,000

7. さけ・ます資源保護対策・研修活動事業

(1) 試験調査事業

十勝地区、釧路地区水産技術普及指導所と連携し、沿岸水温、プランクトン、潮流等の沿岸環境調査を実施して、タイミングを図りながら適期放流を行います。

(2) 教育研修事業

水産研究所、内水試、道増協及び関係機関が主催する技術研修会等に積極的に参加し、ふ化放流技術の向上を図ります。その他、作業の効率化を図るため、必要な作業免許の取得を行います。

(3) 密漁防止対策事業

管内の主要捕獲河川において、関係機関のご協力を得て密漁監視パトロールを実施して、密漁防止に努めます。

(4) 河川環境保全対策事業

管内における増殖河川の環境調査及び汚濁防止のための監視活動及び、水質保全のための水質調査を実施します。水質事故があった場合には関係機関と連携し解決に向け迅速に対応します。その他、開発建設部並びに建設管理部が行う河川工事について、関係機関との協力体制のもと取り進めて参ります。

8. 受入並びに負担事業

(1) ふ化放流助成事業（基準事業費）

道増協が実施する増殖事業支援事業費体制に対して、漁獲高割負担金を応分額支出する一方で、ふ化放流事業に対して助成金を受け入れます。

(2) 秋さけ資源増大対策資金

本会が実施する増殖施設整備事業にあてる目的のエリモ以東海区さけ定置漁業等調整協議会からの助成について、資金運用管理規程に基づき適正に管理して参ります。

収支予算書

(資金ベース)

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

(単位:千円)

科	目	予算額	前年度予算額	増減	備考
I 事業活動収支の部					
1. 事業活動収入					
①特定資産運用収入					
	特定資産利息収入	0	0	0	
②会費収入					
	会員会費収入	400	400	0	
	漁獲高割会費収入(秋)	142,400	178,000	△ 35,600	水揚げ16億8.9%
	漁獲高割会費収入(積)	24,000	30,000	△ 6,000	水揚げ16億1.5%
	漁獲高割会費収入(春)	9,000	7,000	2,000	
	漁獲高割会費収入(特)	0	0	0	
③事業収入					
	親魚捕獲採卵事業収入	21,000	31,500	△ 10,500	
	親魚等売却収入	(20,000)	(30,000)	(△10,000)	
	補完河川親魚売却収入	(1,000)	(1,500)	(△500)	
	放流体制転換事業稚魚売却収入	21,000	11,200	9,800	
	業務受託収入	19,740	15,719	4,021	
	施標業務受託収入	(2,140)	(1,219)	(921)	
	北海道業務受託収入	(5,100)	(2,000)	(3,100)	
	栽培対象資源対策事業受託収入	(12,500)	(12,500)	(0)	
④補助金等収入					
	道増協助成金収入	217,888	238,388	△ 20,500	
	増殖事業支援事業費収入	(217,888)	(217,888)	(0)	全道水揚350億円
	増殖施設整備等助成事業助成金収入	(0)	(500)	(△500)	
	増殖施設整備等補助金	(0)	(20,000)	(△20,000)	
⑤受取負担金収入					
	受取負担金	0	350	△ 350	
	太平洋延縄漁業負担金	(0)	(350)	(△350)	
⑥雑収入					
	受取利息収入	0	0	0	
	職員住宅料収入	240	240	0	
	雑収入	50	50	0	
事業活動収入合計		455,718	512,847	△ 57,129	

科	目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
2. 事業活動支出					
①事業費支出		360,080	398,690	△ 38,610	
	職員給料手当支出	54,900	63,510	△ 8,610	
	臨時労務費支出	35,000	45,000	△ 10,000	
	法定福利費支出	12,580	15,190	△ 2,610	
	福利厚生費支出	3,000	3,000	0	
	会議費支出	100	240	△ 140	
	旅費交通費支出	1,800	2,200	△ 400	
	通信費支出	2,300	2,300	0	
	備品費支出	800	3,000	△ 2,200	
	消耗品費支出	17,000	16,000	1,000	
	餌料費支出	26,300	26,000	300	
	施設費支出	0	0	0	
	施設調査費支出	1,500	500	1,000	
	補修費支出	15,000	15,500	△ 500	
	燃料費支出	12,000	14,000	△ 2,000	
	光熱水料費支出	5,300	5,500	△ 200	
	動力費支出	60,000	71,500	△ 11,500	
	賃借料支出	21,000	21,000	0	
	車輛費支出	29,500	29,750	△ 250	
	親魚販売諸費用支出	1,000	2,000	△ 1,000	
	租税公課支出	6,500	6,700	△ 200	
	負担金支出	49,500	45,100	4,400	
	ふ化放流事業負担金支出	(36,000)	(36,000)	(0)	
	捕獲事業負担金支出	(1,000)	(1,500)	(△500)	
	放流体制転換事業負担金支出	(10,500)	(5,600)	(4,900)	
	道増協施設等改良支援負担金支出	(2,000)	(2,000)	(0)	
	委託費支出	4,500	4,700	△ 200	
	雑費支出	500	6,000	△ 5,500	

科	目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
②管理費支出		82,949	100,594	△ 17,645	
	役員報酬支出	6,000	6,000	0	
	給料手当支出	8,600	8,800	△ 200	
	法定福利費支出	2,640	2,670	△ 30	
	福利厚生費支出	400	500	△ 100	
	会議費支出	1,000	1,000	0	
	旅費交通費支出	3,000	3,500	△ 500	
	通信運搬費支出	500	500	0	
	備品費支出	0	50	△ 50	
	消耗品支出	500	500	0	
	図書購入支出	70	90	△ 20	
	修繕費支出	600	600	0	
	印刷費支出	150	150	0	
	燃料費支出	550	550	0	
	光熱水料費支出	600	650	△ 50	
	車輛費支出	800	800	0	
	賃貸料支出	1,800	1,600	200	
	広告宣伝費支出	100	130	△ 30	
	保険料支出	4,000	4,000	0	
	租税公課支出	2,500	3,000	△ 500	
	負担金支出	47,530	63,100	△ 15,570	
	道増協漁獲高割負担金支出	(45,000)	(60,000)	(△15,000)	
	増殖施設有償貸付負担金支出	(180)	(250)	(△70)	
	親魚等売却負担金支出	(1,500)	(2,000)	(△500)	
	全国組織負担金支出	(840)	(840)	(0)	
	支払い負担金支出	(10)	(10)	(0)	
	支払利息支出	700	1,000	△ 300	
	交際費支出	400	500	△ 100	
	雑支出	509	904	△ 395	
	事業活動支出計	443,029	499,284	△ 56,255	
	事業活動収支差額	12,689	13,563	△ 874	

II 投資活動収支の部	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
1. 投資活動収入				
①特定資産取崩収入	5,540	45,740	△ 40,200	
特別準備金取崩収入	0	0	0	
施設整備積立金取崩収入 (自己積立口取崩収入)	5,540 (0)	45,740 (40,200)	△ 40,200 (△40,200)	
(漁獲高割会費口取崩収入)	(5,540)	(5,540)	(0)	
役員退任慰労金引当資産取崩収入	0	0	0	
②固定資産売却収入	0	0	0	
投資活動収入計	5,540	45,740	△ 40,200	
2. 投資活動支出				
①特定資産取得支出	7,689	8,763	△ 1,074	
施設整備積立資産取得支出 (自己積立口取得支出)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
(漁獲高割会費口取得支出)	(0)	(0)	(0)	
退職給付引当資産取得支出	7,689	8,763	△ 1,074	
役員退任慰労金引当資産取得支出	0	0	0	
②固定資産取得支出	0	40,000	△ 40,000	
土地購入支出	0	0	0	
建物建設(購入・取壊)支出	0	14,000	△ 14,000	
構築物建設支出	0	0	0	
建物附属設備建設支出	0	5,000	△ 5,000	
車輛運搬具購入支出	0	0	0	
機械装置購入支出	0	10,000	△ 10,000	
工具器具備品購入支出	0	11,000	△ 11,000	
投資活動支出計	7,689	48,763	△ 41,074	
投資活動収支差額	△ 2,149	△ 3,023	874	
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
①借入金収入	100,000	100,000	0	
短期借入金収入	100,000	100,000	0	
長期借入金収入	0	0	0	
財務活動収入計	100,000	100,000	0	
2. 財務活動支出				
①借入金返済支出	110,540	110,540	0	
短期借入金返済支出	100,000	100,000	0	
長期借入金返済支出	10,540	10,540	0	長期運転資金+施設整備
財務活動支出計	110,540	110,540	0	
財務活動収支差額	△ 10,540	△ 10,540	0	
IV 予備支出				
当期収支差額	0	0	0	

令和3年度会費の額及び徴収方法

1. 会費の額

(1) 定額会費

10漁業協同組合及び10市町村の会員に対して2万円の負担をお願い致します。

(2) 春さけ定置漁業会費

漁獲金額（消費税控除後）の2.0%とする。

会費は8月31日までに納入願います。

(3) 秋さけ定置漁業会員会費

① 漁獲金額（消費税控除後）の8.9%とする。

※秋さけ定置漁獲高割会費6.9%+特別会費2.0%

② 漁獲金額（消費税控除後）の1.5%を施設整備のための積立とする。

(4) 特別採捕事業負担金（小定置）

① 漁獲金額（消費税控除後）の5.0%とする

② 漁獲金額（消費税控除後）の1.5%を施設整備のための積立とする。

(5) 賛助会員会費

免除とする。

2. 入会金

新規に入会するものは2万円を納入する。

3. 会費の納入時期

事業の運営をスムーズに実施するため、原則として毎月水揚げ分の会費は、毎月10日までに納入願います。

表-1

令和3年度サケ人工ふ化放流計画:全体(案)

(一社)十勝釧路管内さけ・ます増殖事業協会

海区	地区	振興局	捕獲場 ()は補完河川	捕獲数 (尾)	採卵数 (千粒)	道内移殖卵数		国への 供給卵数 (千粒)	收容場	收容卵数 (千粒)	稚魚 生産尾数 (千尾)	稚魚移動		放流水系	稚魚 放流数 (千尾)	備 考															
						供給卵数 (千粒)	受給卵数 (千粒)					供給場	稚魚数 (千尾)																		
えりも以東	東部	根室	幌戸	2,700	2,500				幌戸	1,500	1,260	美留和	1,500	◎昆布盛 ◎三里浜 ◎沖根婦漁港	500 500 500																
												芦別	1,900	幌戸	3,160																
		(藻散布)	(別寒辺牛)	釧路	82,300	74,500				美留和 オソツベツ ※鶴居 芦別 茶路	19,470 16,770 10,100 18,590 10,570	16,380 14,080 9,100 15,670 8,860		オソツベツ	910		◎霧多布港湾沖	2,100													
														芦別	1,190																
														オソツベツ	570		新川	570													
														美留和	1,000		藻散布	2,050													
														オソツベツ	350																
														芦別	700																
														オソツベツ	700		◎藻散布港湾	700													
														美留和	2,140		別寒辺牛	2,000													
	オソツベツ	440	末広川	580																											
	美留和	2,800	◎老若舞漁港 チヨロベツ ◎昆布森漁港	700 1,400 700																											
	茶路	10,570	8,860	茶路	3,160	庶路 茶路	3,160 5,700																								
	地区計			85,000	77,000	0	0	10,100		77,000	65,350		17,360	65,350																	
	西部	十勝	釧路	幕別 千代田 (歴舟) (小紋別) 楽古 広尾	114,500 2,000 30,700	105,140 1,900 28,100			更別第1 ※十勝 幕別 札内 更生 小紋別 広尾	12,770 17,500 27,680 28,130 5,730 2,870 30,000	10,990 15,300 23,810 24,200 4,930 2,470 25,800		音別 幕別 札内 更別第1 幕別 更別第1 幕別 広尾	10,460 1,500 3,000 3,070 1,800 2,430 2,000 8,400	音別 厚内 新川 モウド ◎厚内漁港 十勝 当縁 歴舟 小紋別 豊似 楽古 広尾 音調津	9,000 1,500 500 500 2,000 60,500 1,700 8,100 6,900 3,000 3,400 17,400 2,000															
																	地区計			147,200	135,140	0	0	17,500		135,140	116,500		22,200	116,500	
																	海区計			232,200	212,140	0	0	27,600		212,140	181,850		39,560	181,850	

※(国研)水産研究・教育機構水産資源研究所

稚魚生産率84%、 捕獲親魚の♀比45%、♀使用率90.0%、1尾当平均採卵数2,300粒
係数1.089 * 收容卵数 = 捕獲尾数

◎は海中飼育

令和3年度ベニザケ人工ふ化放流計画(稚魚生産)

海区	地区	振興局	捕獲場	捕獲数 (尾)	採卵数 (千粒)	道内移殖卵数		センターへの 供給卵数 (千粒)	收容場	收容卵数 (千粒)	稚魚 生産尾数 (千尾)	稚魚移動		放流水系	稚魚 放流数 (千尾)	備 考
						供給卵数 (千粒)	受給卵数 (千粒)					供給場	稚魚数 (千尾)			
海区計	地区計	釧路	釧路	※1	60			60	※2	60	50			釧路	50	
				60	60		60	50		50						
				60	60		60	50		50						

※1 捕獲数策定指標 ♀比55% ♀使用率75% 1尾当平均採卵数2,100千粒

※2 ふ化場、幼魚生産場の※は(国研)水産研究・教育機構水産資源研究所